

# 第22回 男のゆうゆう塾講座アルバム(2020年度)

## 第9講座 渡良瀬遊水地と田中正造の足跡

日時 2020年11月7(土) 8:50名細市民センター  
会場 佐野市立郷土博物館～田中正造生家～渡良瀬遊水地～三県県境  
幹事 戸田邦彦さん (ガイド)板倉町サポータークラブ 大塚和雄・柴田茂雄

出席者 南、戸田、上野、斉藤、遠藤、辻、加藤政、竹内、佐藤、永山、江田、宮崎、神谷、仁科、石原、田嶋、東馬、森屋 (18名)

コロナ禍での社会見学です。3密を避け体温・消毒・マスクを着用し、5台の車に分乗して見学しました。田中正造は前半、足尾銅山から流出する鉱毒を阻止するために闘い、後半は、渡良瀬に鉱毒を沈下させる遊水地を作るため、谷中村を土地収用法により、強制収用したことに命を懸けて反対しました。現在の遊水地は、3つの調整池があり、3,300haと広大な湿地で水害の防止、生活用水の供給、動植物の宝庫としてラムサール条約に認定され、市民から親しまれる場所となりました。



# 第22回 男のゆうゆう塾講座アルバム(2020年度)

## 第9講座 渡良瀬遊水地と田中正造の足跡

渡良瀬遊水地周辺は、茨城、埼玉、群馬、栃木と4県にかかっていますが、陸地で埼玉、栃木、群馬県の3県の県境地点があります。こんな地形なので、田中正造の関係資料をどの県で保存するのか難しかったと思います。また、遊水地は健全な公園として市民から親しまれているので、暗い負の遺産については目立たないようにしている気がしました。

